



## 2024年3月期 第2四半期決算説明会

株式会社SUBARU  
代表取締役社長 CEO 大崎 篤

2023年11月2日

皆さま、こんにちは。

SUBARUの大崎でございます。

本日はお忙しい中、

株式会社SUBARU 2024年3月期 第2四半期決算説明会にご参加頂き、  
誠にありがとうございます。

また、平素は弊社の事業活動につきまして、多大なるご理解・ご支援を賜り、  
重ねて御礼申し上げます。

本日は、私から、第2四半期決算のポイントと

8月2日に公表しました「新体制方針」の進捗についてご説明いたします。

## 2024年3月期 第2四半期決算のポイント

### ■ 2024年3月期 第2四半期実績

・生産台数: 493千台 (前年同期比16%増)

第1四半期に引き続き、第2四半期累計でも**前年を上回る実績**

・営業利益: 1,858億円 (前年同期比88%増)

販売台数の増加および為替変動による増益効果などにより、**前年に対し増益**

### ■ 2024年3月期 通期見通し

・生産台数: 1,010千台 (前年同期比16%増)

概ね計画通りに進捗していることを踏まえ、**期初発表値から不変**

・営業利益: 4,200億円 (前年同期比57%増)

各種減益要因はあるものの、販売構成の改善や為替変動による増益効果を織り込み、期初計画を**上方修正**

### ■ 年間配当予想の修正 (中間: 38円+記念配当10円 / 期末(予定): 38円+記念配当10円)

・通期業績見通しの上方修正ならびに創立70周年を踏まえ、**年間配当予想を修正**

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

2

後ほど、CFOの水間より詳細はご説明いたしますが  
まずは、私より2024年3月期 第2四半期決算について、  
ポイントを絞ってご説明をさせていただきます。

初めに第2四半期の業績です。  
生産台数については、生産計画の調整など、  
生産台数確保に向けた各種取り組みを継続してきたことにより、  
第2四半期累計では、第1四半期に引き続き、前年を上回る実績となりました。

営業利益については、諸経費等の増加及び原材料価格の上昇などがあったものの  
生産台数の増加および北米を中心とした堅調な販売モメンタムに支えられ、  
また円安による増益効果が加わったことで、前年に対し、増益となりました。

続いて2024年3月期の通期見通しです。  
半導体を使用した部品などの供給リスク継続を見込むものの、  
第1四半期に引き続き、生産、販売は、  
概ね計画通りに進捗していることを踏まえ、  
期初に公表しました101万台の生産計画は不変とします。

営業利益については、諸経費等の増加や物流制約のリスクはあるものの、  
販売構成の改善や貴金属を中心とした市況の下落を見込むとともに  
円安による増益効果を織り込み、  
期初に公表しました3,000億円の計画に対し、  
1,200億円を上積みした4,200億円に修正することとしました。

株主還元につきましては、業績見通しの上方修正ならびに  
当社が創立70周年を迎えたことを踏まえ、  
年間配当は、普通配当に加え、記念配当を予定しております。

2024年3月期 第2四半期累計実績

(億円)

	2023年3月期 2Q累計実績	2024年3月期 2Q累計実績	増減
生産台数(千台)	425	493	+68
連結販売台数(千台)	398	469	+71
売上収益	17,509	22,135	+4,626
営業利益	1,104	1,858	+754
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	779	1,509	+731
為替レート US\$	¥130	¥139	+¥9

第2四半期の累計実績はご覧の通りです。

## 2024年3月期 通期計画

(億円)

	2023年3月期 通期実績(a)	2024年3月期 前回計画(b)*	2024年3月期 今回計画(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
生産台数 (千台)	874	1,010	1,010	+136	±0
連結販売台数 (千台)	852	1,010	1,010	+158	±0
売上収益	37,745	42,000	46,500	+8,755	+4,500
営業利益	2,675	3,000	4,200	+1,525	+1,200
親会社の所有者に帰属する 当期利益	2,004	2,100	3,200	+1,196	+1,100
為替レート US\$	¥135	¥128	¥140	+¥5	+¥12

\* 2023/8/2発表値

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

4

続きまして、通期計画です。

ご覧の通り、

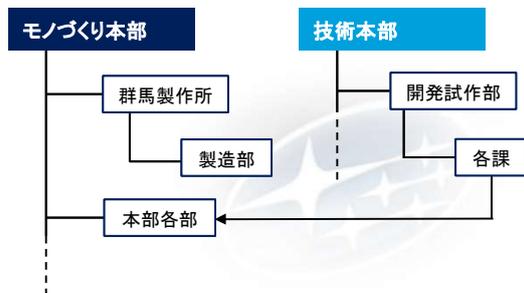
売上収益は4兆6,500億円、営業利益は4,200億円と

ともに上方修正し、その達成に向けて邁進していきたいと考えております。

以上、第2四半期決算のポイントについてお話いたしました。

## モノづくり本部設立

製造本部に試作機能を移管するとともに  
「モノづくり革新」実現のための  
第一弾として「モノづくり本部」へ改称



## 開発拠点の刷新

「ひとつのSUBARU化」に向けた  
各開発拠点の刷新



新・開発拠点@群馬・太田  
(2024年1月稼働予定)



新・開発拠点@東京・三鷹  
(2023年3月稼働)

続きまして、8月2日に公表しました「新体制方針」について  
進捗状況をご紹介します。

「新体制方針説明」では、『大変革期を勝ち抜くために  
「モノづくり革新」と「価値づくり」において世界最先端を狙う』と申し上げました。

この発表を契機に、  
そういった意識の変化が、社内の端々(はしばし)に見え始め、  
“改革に向けた動き”が着実に進んでいるという手ごたえを感じています。  
この”改革に向けた動き”を更に加速させるべく、  
次のような取り組みを行っています。

まずは組織面です。  
「大変革期」において「製造」の概念も大きく変わる中、  
10月1日付で、「モノづくり革新」の第一歩として、組織変更を行いました。  
改めてモノづくりのあり方を見直し、究めていくための改革に向け、  
「シームレスな開発」による効率化を狙い  
技術本部の試作部門は、一部を残し製造部門に移管しました。  
併せて、「製造本部」の名称を「モノづくり本部」へと改称しました。

続いてハード面です。  
「ひとつのSUBARU化」に向け、開発拠点を刷新しています。  
三鷹の開発拠点は今年3月に稼働、  
群馬の開発拠点は2024年1月の稼働を予定しております。

「新体制方針」の進捗について

■ 新・開発拠点名称 (@群馬)



群馬の開発拠点の名称は

SUBARUの技術革新の拠点として「イノベーションハブ」としました。

時代に合わせて高度に分業化していった

「製造部門」「開発部門」及び「お取引先様」といった組織を

再びイノベーションハブに集め

新たな価値を創造する”知の中心となる環境”を作り出していきます。

また、100年に一度の変革期において、変革をリードしていく人財を育み、

周囲と共に、未来を創り上げることができる風土も醸成していきます。

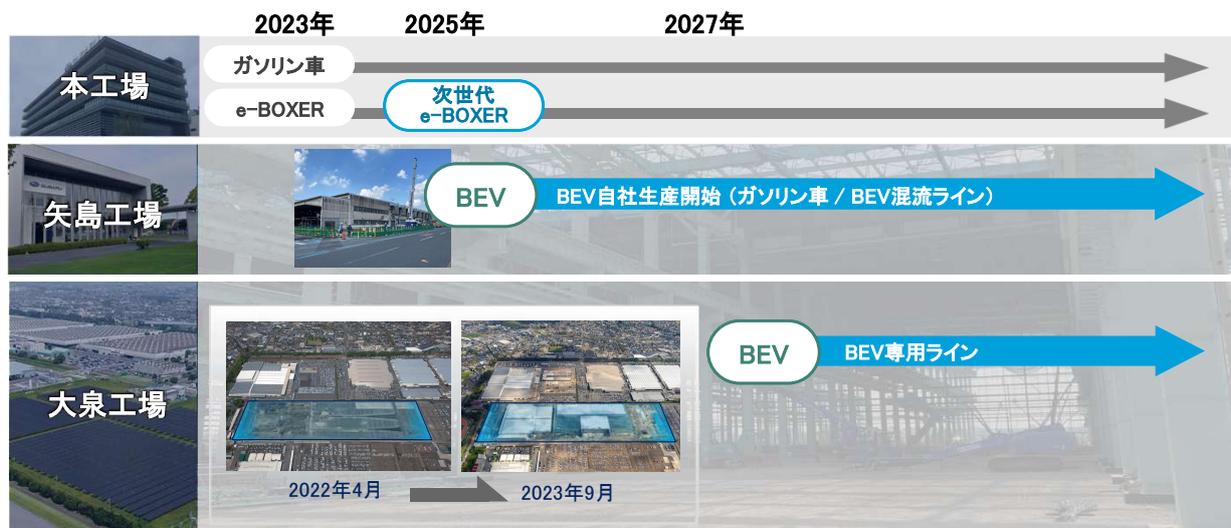
小回りの利く我々「SUBARUの規模だからこそできる」

「製造」「開発」「お取引先様領域まで含めたサプライチェーン」が一体となった

”ひとつのSUBARU化”を進め、高密度なモノづくりを推進していきます。

## 「新体制方針」の進捗について

### ■ 各工場の工事進捗



<https://www.subaru.co.jp/ir/>

7

最後にバッテリーEV工場の工事進捗について少しご紹介します。

ガソリン車専用ラインをバッテリーEVとの混流ラインに改修予定の矢島工場および、バッテリーEV専用ラインを建設予定の大泉工場の工事は順調に進んでおります。

特に大泉工場は、更地とした土地にまったく新しい工場を建設するということで自由度高く、ゼロベースの様々なアイデアを入れ込みながら進めています。

2025年を目途に矢島工場の混流ライン立ち上げ、2027年以降に大泉工場の専用ライン立ち上げを目指して進めています。

今後も随時情報を更新し、適宜お知らせしていきます。  
ありがとうございました。

続きましてCFOの水間より、第2四半期決算の詳細につきましてご説明いたします。



## 2024年3月期 第2四半期決算説明会

株式会社SUBARU

取締役専務執行役員 CFO 水間 克之

2023年11月2日

## 2024年3月期 第2四半期累計実績

## 第2四半期累計実績 連結完成車販売台数・生産台数

(千台)

	2023年3月期 2Q累計実績	2024年3月期 2Q累計実績	増減
米国生産	143	173	+30
国内生産	283	320	+37
<b>生産台数* 合計</b>	425	<b>493</b>	+68

	2023年3月期 2Q累計実績	2024年3月期 2Q累計実績	増減
<b>連結完成車販売台数 合計</b>	398	<b>469</b>	+71

\*トヨタ向けGR86の台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

10

2024年3月期 第2四半期累計実績をご説明いたします。

はじめに、生産台数についてです。

生産および調達における各種取り組みを継続してきた結果、前年同期に対し6万8千台の増となる49万3千台となりました。

続いて、連結販売台数についてです。

海外市場向けの出荷に対する物流制約の影響はあるものの、輸送切替などの工夫が販売に繋がり、前年同期に対し7万1千台の増となる46万9千台となりました。

第2四半期累計実績 連結完成車販売台数（市場別）

（千台）

	2023年3月期 2Q累計実績	2024年3月期 2Q累計実績	増減
登録車	40	38	-2
軽自動車	9	7	-2
<b>国内合計</b>	49	45	-4
米国	279	327	+48
カナダ	22	31	+9
欧州	8	15	+7
豪州	18	27	+9
中国	6	4	-2
その他	17	21	+4
<b>海外合計</b>	350	424	+75
<b>合計</b>	398	469	+71

市場別連結販売台数実績についてはご覧の通りです。

米国市場の小売り販売は堅調に推移しており、  
2023暦年の目標63万台を超える台数達成に向けて、  
特に米国市場への出荷を増やしております。

## 第2四半期累計実績 連結業績

(億円)

	2023年3月期 2Q累計実績	2024年3月期 2Q累計実績	増減
売上収益	17,509	22,135	+4,626
国内	2,816	2,886	+70
海外	14,693	19,248	+4,555
営業利益	1,104	1,858	+754
税引前利益	1,204	2,265	+1,061
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	779	1,509	+731
為替レート US\$	¥130	¥139	+¥9
EURO	¥137	¥151	+¥14
CAN\$	¥101	¥103	+¥2

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

12

続いて、連結業績です。

売上収益は、

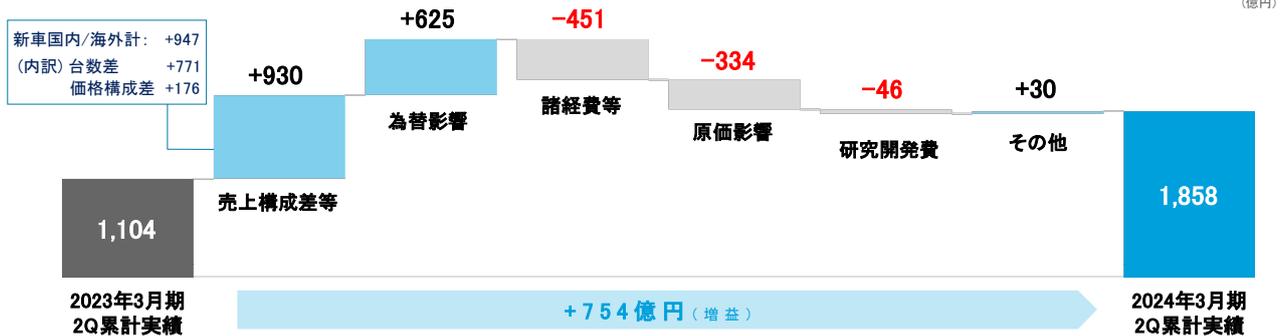
販売台数増や販売価格改定等による売上構成差等+3,647億円、  
為替レート差+868億円により、  
前年同期比4,626億円の増収となる2兆2,135億円となりました。

営業利益は、

前年同期比754億円の増益となる1,858億円となりました。

また、税引前利益は1,061億円の増益となる2,265億円、

親会社の所有者に帰属する当期利益は731億円の増益となる1,509億円となりました。



売上構成差等	+930	為替影響	+625	諸経費等	-451	原価影響	-334					
新車国内	-48 US \$	+508	製造固定費	+25	販管費	-277	保証修理費	-199	SUBARU	-262	SIA *1	-72
新車海外	+995 EURO	+28	SUBARU	+38	SIA *1	-13	SUBARU	-145 (為替換算影響含む)	原価低減	+36	原価低減	+14
販売奨励金	-125 CAN \$	+11	外製型費	+45	外製型費	-5	国内ディーラー	-6	原材料・市況等	-298	原材料・市況等	-86
その他	+108 中国元	-	固定加工費	-7	固定加工費	-8	SOA *2	-85				
		仕入為替調整	-71			SCI *3	-13					
		未実現利益分	+149			その他	-28					

\*1 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc. \*2 SOA: Subaru of America Inc. \*3 SCI: Subaru Canada Inc.

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

次に、営業利益+754億円の要因についてです。

主な増益要因は、売上構成差等の改善と為替影響です。

売上構成差等は、海外市場での販売台数の増加および販売価格改定により+930億円となりました。

為替影響は、USドルが前年同期130円から139円と約9円の円安になったことを主因とし、+625億円となりました。

主な減益要因は、

販管費やインフレに伴う工賃レート上昇等による保証修理費の増加を主因とし、諸経費等で-451億円となりました。

また、貴金属をはじめとする市況下落による増益を、

サプライヤーの皆様の負担軽減を含む原材料価格上昇による減益が上回り、原価影響で-334億円となりました。

米国市場向け販売奨励金については、

前年同期の台当たり750ドルに対し150ドル増となる900ドルとなり、奨励金総額としては108億円の増加となりました。

## キャッシュフロー / 手元資金状況

(億円)

	2023年3月期 2Q累計実績	2024年3月期 2Q累計実績	
営業活動によるCF	2,123	2,674	
投資活動によるCF	-1,100	-3,191	
フリーCF	1,023	-517	
財務活動によるCF	-460	-840	
現金及び現金同等物の為替影響額	1,024	619	
	2023年3月末	2023年9月末	増減
現金及び現金同等物 期末残高	9,795	9,058	-737
有利子負債 期末残高 *	3,126	3,232	+106
ネットキャッシュ	6,669	5,826	-843

\*リース負債は上記の実績に含んでおりません。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

14

次にキャッシュフローおよび手元資金の状況です。

フリーキャッシュフローは-517億円となりました。

投資活動によるキャッシュフローには、

U.S.ドル建て定期預金への預入-1,572億円が含まれています。

また、5月の年度決算にて発表した自己株式400億円の取得は完了し、

11月15日に消却の予定です。

現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に対し737億円減となる9,058億円、

有利子負債残高は、前期末に対し106億円増の3,232億円となり、

その結果、ネットキャッシュは前期末に対し843億円減の5,826億円となりました。

## 設備投資・減価償却費・研究開発支出

(億円)

	2023年3月期 2Q累計実績	2024年3月期 2Q累計実績	増減
設備投資 *1	551	964	+413
減価償却費 *1	495	483	-12
研究開発支出 *2	519	621	+102

\*1 リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績に含んでおりません。

\*2 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載。  
尚、IFRSでは当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の「研究開発費」と異なります。(日本基準における連結損益計算書上の研究開発費と一致)

設備投資などの実績については、ご覧の通りです。

## 2024年3月期 見通し

## 通期計画 連結完成車販売台数・生産台数

(千台)

	2023年3月期 通期実績(a)	2024年3月期 前回計画(b)	2024年3月期 今回計画(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
米国生産	299	-	-	-	-
国内生産	575	-	-	-	-
<b>生産台数* 合計</b>	<b>874</b>	<b>1,010</b>	<b>1,010</b>	<b>+136</b>	<b>±0</b>

	2023年3月期 通期実績(a)	2024年3月期 前回計画(b)	2024年3月期 今回計画(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
<b>連結完成車販売台数 合計</b>	<b>852</b>	<b>1,010</b>	<b>1,010</b>	<b>+158</b>	<b>±0</b>

\* トヨタ向けGR86の台数を含む

続いて、2024年3月期 通期計画についてご説明します。

部品供給や物流に関するリスクは残るものの、  
 米国を中心にSUBARU車に対する需要は依然として強く、  
 生産および販売が概ね計画通り進捗しているため、  
 生産台数101万台、連結販売台数101万台は不変といたします。

通期計画 連結完成車販売台数(市場別)

(千台)

	2023年3月期 通期実績(a)	2024年3月期 前回計画(b)	2024年3月期 今回計画(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
登録車	81	107	100	+19	-7
軽自動車	19	19	16	-2	-3
<b>国内合計</b>	100	126	116	+17	-10
米国	592	664	686	+94	+22
カナダ	43	65	72	+29	+7
中国	10	14	12	+1	-2
その他	108	141	123	+16	-17
<b>海外合計</b>	753	884	894	+141	+10
<b>合計</b>	852	1,010	1,010	+158	±0

市場別の連結販売計画についてはご覧の通りです。

堅調な米国市場向けの出荷を増やす計画に見直しております。

国内市場は10月末に発表したLEVORG LAYBACKをフックに、登録車販売台数10万台を目指します。

## 通期計画 連結業績

(億円)

	2023年3月期 通期実績(a)	2024年3月期 前回計画(b)	2024年3月期 今回計画(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
売上収益	37,745	42,000	<b>46,500</b>	+8,755	+4,500
営業利益	2,675	3,000	<b>4,200</b>	+1,525	+1,200
税引前利益	2,784	3,000	<b>4,600</b>	+1,816	+1,600
親会社の所有者に帰属する 当期利益	2,004	2,100	<b>3,200</b>	+1,196	+1,100
為替レート US\$	¥135	¥128	<b>¥140</b>	+¥5	+¥12
EURO	¥141	¥138	<b>¥150</b>	+¥9	+¥12
CAN\$	¥102	¥94	<b>¥102</b>	-¥0	+¥8

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

19

続いて、連結業績です。

諸経費等の増加を見込みますが、円安による増益効果を織り込み、  
前回計画に対して、売上収益および損益計画を上方修正いたしました。

足元の為替状況を踏まえてUSドル前提を140円とし、  
前回計画に対し、売上収益は4,500億円増となる4兆6,500億円、  
営業利益は1,200億円増となる4,200億円、  
税引前利益4,600億円、親会社の所有者に帰属する当期利益3,200億円を計画します。

前年実績対比

通期計画 営業利益増減要因

(億円)



売上構成差等	+1,627	為替影響	+746	原価影響	+39	諸経費等	-771
新車国内	+78 US \$	+554 SUBARU	-193 SIA *1	+232 製造固定費	+30 販管費	-440 保証修理費	-361
新車海外	+1,694 EURO	+40 原価低減	+92 原価低減	+58 SUBARU	+24 SIA *1	+6 SUBARU	-229 (為替換算影響含む)
販売奨励金	-526 CAN \$	-5 原材料・市況等	-285 原材料・市況等	+174 外製型費	+82 外製型費	+51 国内ディーラー	-17
その他	+381 中国元	- 仕入為替調整	-8 未実現利益分	- 固定加工費	-58 固定加工費	-45 SOA *2	-121 SCI *3
			+165				-24
							-49

\*1 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc. \*2 SOA: Subaru of America Inc. \*3 SCI: Subaru Canada Inc.  
<https://www.subaru.co.jp/ir/>

次に、前年実績対比の営業利益増減要因です。

主な増益要因は、

連結販売台数15万8千台の増加により売上構成差等で+1,627億円、  
 USDが前年度135円から約5円円安の140円を前提とし、為替影響で+746億円となる見通しです。

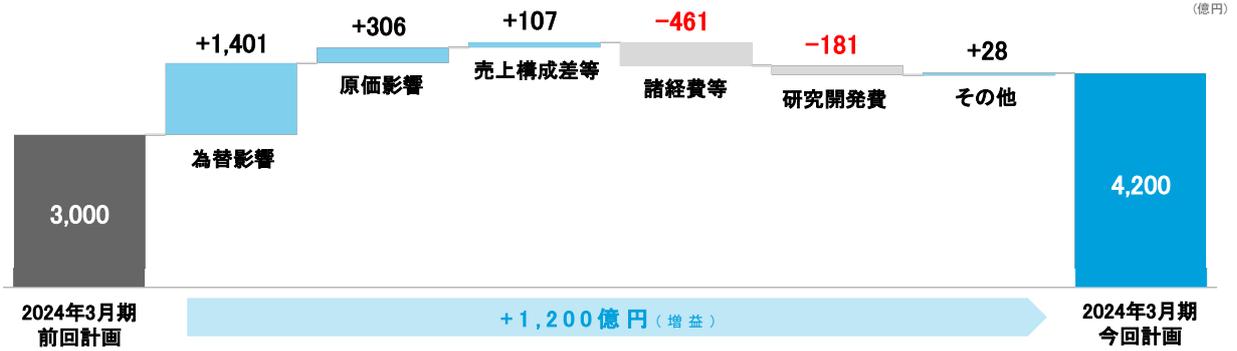
主な減益要因は、

販管費や保証修理費の増加に伴う諸経費等で-771億円、  
 研究開発費は-121億円を見通しております。

また、米国市場向け販売奨励金については、

前年の台当たり900ドルに対し300ドル増となる1,200ドルとなり、  
 奨励金総額としては424億円の増加となる見通しです。

前回計画対比  
通期計画 営業利益増減要因



為替影響	+1,401	原価影響	+306	売上構成差等	+107	諸経費等	-461
US \$	+1,322	SUBARU +192 SIA *1	+114	新車国内	-77	製造固定費 +53 販管費 -157 保証修理費 -357	
EURO	+44	原価低減 +64 原価低減	+40	新車海外	+326	SUBARU +16 SIA *1 +37 SUBARU -120 (為替換算影響含む)	
CAN \$	+91	原材料・市況等 +128 原材料・市況等	+74	販売奨励金	-181	外製型費 +26 外製型費 +14 国内ディーラー +13	
中国元	-1			その他	+39	固定加工費 -10 固定加工費 +23 SOA *2 -45	
仕入為替調整	+117					SCI *3 -6	
未実現利益分	-172					その他 +1	

\*1 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc. \*2 SOA: Subaru of America Inc. \*3 SCI: Subaru Canada Inc.  
<https://www.subaru.co.jp/ir/>

次に、前回計画対比の営業利益増減要因です。

主な増益要因は、

為替前提をUSドル128円から約12円円安の140円へ変更したことを主因とし、為替影響で+1,401億円、

貴金属をはじめとする市況下落により原価影響で+306億円、

市場ミックスの改善や販売価格改定による売上構成差等で+107億円を見込んでおります。

主な減益要因は、

保証修理費の増加で-357億円、

販管費の増加で-157億円、

あわせて諸経費等として-461億円を見込んでおります。

保証修理費については、円安方向への為替前提変更に伴う影響 約-200億円や、

工賃レート上昇等の継続を見込みます。

## 設備投資・減価償却費・研究開発支出

(億円)

	2023年3月期 通期実績(a)	2024年3月期 前回計画(b)	2024年3月期 今回計画(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
設備投資 *1	1,228	1,800	1,800	+572	±0
減価償却費 *1	1,030	1,000	1,000	-30	±0
研究開発支出 *2	1,078	1,200	1,350	+272	+150

\*1 リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績に含んでおりません。

\*2 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載。  
尚、IFRSでは当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の「研究開発費」と異なります。(日本基準における連結損益計算書上の研究開発費と一致)

設備投資・減価償却費・研究開発支出についてです。

設備投資、減価償却費は変更ございませんが、

研究開発支出は、電動化戦略の加速に伴い150億円増となる1,350億円に修正いたします。

	2023年3月期 実績	2024年3月期 前回予想	2024年3月期 今回予想	
中間	38	38	48	普通配当38円 + 記念配当10円
期末	38	38	48	普通配当38円 + 記念配当10円
年間合計	76	76	96	普通配当76円 + 記念配当20円

最後に、株主還元についてです。

上期の業績や通期計画の上方修正および2023年7月に創立70周年を迎えたことをふまえ、中間配当は普通配当38円に加え、10円の記念配当を実施し、1株当たり配当金を48円と決定いたします。

また、期末配当も中間配当と同額の48円を予定し、その結果年間配当金は96円となる予定です。

次ページ以降は、セグメント情報等の参考情報となります。

以上で2024年3月期 第2四半期決算の説明を終わります。ありがとうございました。

## ご参考

- ・ セグメント情報（事業別 / 所在地別）
- ・ 海外売上収益
- ・ 連結財政状態計算書
- ・ 単独販売台数
- ・ 米国子会社業績
- ・ 第2四半期（3ヵ月）連結業績実績
- ・ 下期 連結業績計画
- ・ 2023年3月期及び2024年3月期実績（四半期別）
- ・ 生産台数 / 小売台数 推移

## 第2四半期累計実績 事業セグメント情報

(億円)

	売上収益				営業利益			
	2023年3月期 2Q累計実績	2024年3月期 2Q累計実績	増減	2024年3月期 通期計画	2023年3月期 2Q累計実績	2024年3月期 2Q累計実績	増減	2024年3月期 通期計画
自動車	17,134	21,635	+4,500	45,394	1,100	1,837	+737	4,140
航空宇宙	351	474	+123	1,057	-32	-11	+21	20
その他	24	26	+2	49	36	30	-7	40
消去・全社	-	-	-	-	0	3	+3	-
合計	17,509	22,135	+4,626	46,500	1,104	1,858	+754	4,200

## 第2四半期累計実績 所在地別セグメント情報

(億円)

	売上収益			営業利益		
	2023年3月期 2Q累計実績	2024年3月期 2Q累計実績	増減	2023年3月期 2Q累計実績	2024年3月期 2Q累計実績	増減
日本	3,876	<b>4,495</b>	+618	778	<b>1,080</b>	+302
北米	13,053	<b>16,911</b>	+3,859	862	<b>1,177</b>	+315
その他	580	<b>729</b>	+149	12	<b>-15</b>	-27
消去・全社	-	-	-	-548	<b>-383</b>	+164
合計	17,509	<b>22,135</b>	+4,626	1,104	<b>1,858</b>	+754

## 第2四半期累計実績 海外売上収益

(億円)

	2023年3月期 2Q累計実績	2024年3月期 2Q累計実績	増減
北米	13,235	17,200	+3,965
欧州	303	594	+291
アジア	467	339	-128
その他	688	1,115	+427
合計	14,693	19,248	+4,555

## 連結財政状態計算書

(億円)

	2023年3月末	2023年9月末	増減
<b>資産合計</b>	39,442	<b>43,665</b>	+4,224
流動資産	24,298	<b>27,284</b>	+2,986
非流動資産	15,144	<b>16,382</b>	+1,238
<b>負債合計</b>	18,342	<b>20,620</b>	+2,278
有利子負債	3,126	<b>3,232</b>	+106
<b>資本合計</b>	21,099	<b>23,045</b>	+1,946
利益剰余金	16,237	<b>17,454</b>	+1,217
親会社の所有する帰属持分	21,010	<b>23,024</b>	+2,014
親会社の所有者に帰属する持分比率	53.3%	<b>52.7%</b>	-0.5%
D/Eレシオ	0.15	<b>0.14</b>	-0.01

## 第2四半期累計実績 単独販売台数

(千台)

	2023年3月期 2Q累計実績	2024年3月期 2Q累計実績	増減
国内生産*	283	320	+37
国内売上	50	46	-4
登録車	40	39	-1
軽自動車	10	7	-3
輸出台数	228	273	+45
海外生産用部品	153	164	+11
単独合計売上	431	483	+52

\*トヨタ向けGR86の台数を含む

## 第2四半期累計実績 米国子会社業績

(Million US\$)

SOA *1	2023年3月期 2Q累計実績	2024年3月期 2Q累計実績	増減
売上高	9,125	11,066	+1,941
営業利益	521	597	+76
当期純利益	354	501	+147
小売販売台数(千台)	267	322	+55
SIA *2	2023年3月期 2Q累計実績	2024年3月期 2Q累計実績	増減
売上高	3,939	5,061	+1,123
営業利益	-38	107	+145
当期純利益	-26	98	+124
生産台数(千台)	143	173	+30

\*1 SOA: Subaru of America Inc. \*2 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc.

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

第2四半期(3ヵ月)実績 連結完成車販売台数(市場別)

(千台)

	2023年3月期 2Q実績	2024年3月期 2Q実績	増減
登録車	23	21	-3
軽自動車	5	3	-2
<b>国内合計</b>	28	24	-4
米国	140	164	+24
カナダ	11	15	+4
欧州	3	8	+5
豪州	9	12	+3
中国	3	2	-2
その他	8	9	+1
<b>海外合計</b>	174	210	+35
<b>合計</b>	203	234	+31

## 第2四半期(3ヵ月)実績 連結業績

(億円)

	2023年3月期 2Q実績	2024年3月期 2Q実績	増減
<b>売上収益</b>	9,168	<b>11,313</b>	+2,145
国内	1,546	<b>1,476</b>	-69
海外	7,622	<b>9,837</b>	+2,214
<b>営業利益</b>	735	<b>1,014</b>	+279
<b>税引前利益</b>	819	<b>1,111</b>	+291
親会社の所有者に帰属する <b>四半期利益</b>	506	<b>777</b>	+271
<b>為替レート</b> US\$	¥135	<b>¥143</b>	+¥7
EURO	¥140	<b>¥155</b>	+¥16
CAN\$	¥105	<b>¥107</b>	+¥2



下期計画 連結完成車販売台数(市場別)

(千台)

	2023年3月期 下期実績	2024年3月期 下期計画	増減
登録車	42	63	+21
軽自動車	9	9	-1
<b>国内合計</b>	51	71	+20
米国	313	359	+46
カナダ	21	41	+21
中国	4	8	+4
その他	65	61	-4
<b>海外合計</b>	403	469	+66
<b>合計</b>	454	541	+87

## 下期計画 連結業績

(億円)

	2023年3月期 下期実績	2024年3月期 下期計画	増減
売上収益	20,236	24,365	+4,130
営業利益	1,570	2,342	+771
税引前利益	1,580	2,335	+755
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	1,226	1,691	+465
為替レート US\$	¥140	¥140	+¥0
EURO	¥143	¥150	+¥7
CAN\$	¥103	¥100	-¥3

前年実績対比

下期計画 営業利益増減要因

(億円)



売上構成差等	+697	原価影響	+373	為替影響	+121	諸経費等	-320							
新車国内	+126	SUBARU	+69	SIA *1	+304	US \$	+46	製造固定費	+5	販管費	-163	保証修理費	-162	
新車海外	+699	原価低減	+56	原価低減	+44	EURO	+12	SUBARU	-14	SIA *1	+19	SUBARU	-84	(為替換算影響含む)
販売奨励金	-401	原材料・市況等	+13	原材料・市況等	+260	CAN \$	-16	外製型費	+37	外製型費	+56	国内ディーラー	-11	
その他	+273					中国元	-	固定加工費	-51	固定加工費	-37	SOA *2	-36	
						仕入為替調整	+63					SCI *3	-11	
						未実現利益分	+16					その他	-21	

\*1 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc. \*2 SOA: Subaru of America Inc. \*3 SCI: Subaru Canada Inc.

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

## 2023年3月期および2024年3月期実績(四半期別)

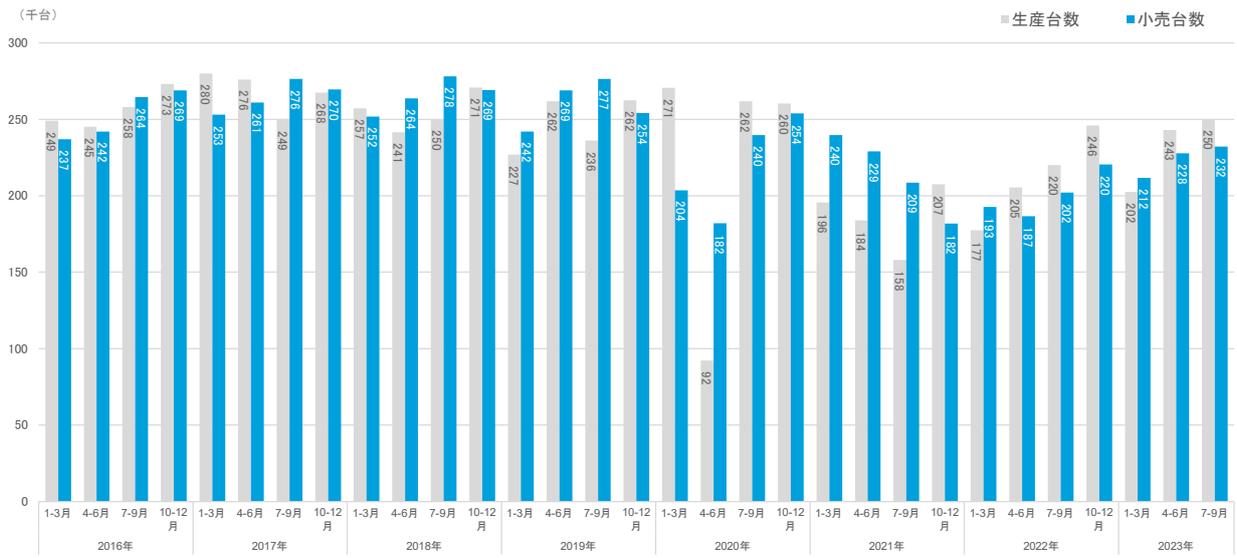
(億円)

	2023年3月期				2024年3月期	
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	1Q実績	2Q実績
連結販売台数(千台)	196	203	237	217	236	234
生産台数*(千台)	205	220	246	202	243	250
売上収益	8,341	9,168	10,571	9,665	10,821	11,313
営業利益	370	735	1,032	538	845	1,014
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	272	506	766	460	732	777
為替レート US\$	¥125	¥135	¥144	¥133	¥135	¥143

\*トヨタ向けGR86の台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

## 生産台数 / 小売台数 推移



\* 生産台数にはトヨタ向けGR86の台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。本資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。